

TAKANO CO., LTD.

第64期決算説明会

(2016/4/1～2017/3/31)



タカノ株式会社

2017年5月30日

**2017年3月期実績および
2018年3月期見込みについて**

代表取締役社長 鷹野 準

**2017年3月期決算（連結）
実績の内容について**

代表取締役社長 鷹野 準

●当社および連結子会社の概要について

会社名	沿革等	事業の内容
※当社 タカノ株式会社	昭和28年7月 ばね製造会社として設立 平成9年東証上場	・オフィス家具、ユニット（ばね）製品、エクステリア製品、 画像処理検査装置、電磁アクチュエータ、健康福祉関連機器 の製造販売
※連結子会社 (株)ニッコー [機械・工具]	昭和43年3月 グループ内の工具機械等の仕入を する商社機能として設立	・工具、器具、機械、エクステリア製品の仕入販売
※連結子会社 タカノ機械(株) [検査計測機器]	昭和54年9月 当社治工具・専用機の設計製造 部門を分離独立させ設立。	・省力化機械の製造販売 ・検査計測装置のメカ機械等の製作
※連結子会社 台湾鷹野股份有限公司 [検査計測機器]	平成17年2月 当社100%子会社として設立、 同年4月より営業を開始	・台湾におけるFPD向け画像処理検査装置のメンテナンス、ア フターサービス、販売活動
※連結子会社 上海鷹野商貿有限公司 [住生活関連機器]	平成22年2月 当社100%子会社として設立 平成25年12月 資本金を50万米ドルに増資	・オフィス家具他、各種製品の仕入販売 (当社各部門の中国市場向けの製品の販売活動等、中国から の部材仕入れ活動等を行う目的で設立)
※連結子会社 香港鷹野國際有限公司 [産業機器]	平成23年8月 当社100%子会社として設立(登記) 平成24年4月(営業本格開始)	・産業機器(電磁アクチュエータ)製品、検査計測機器製品お よびそれぞれの製品にかかる部品等の仕入・販売(輸出入)

●2017年3月期連結決算実績 (対前期比)

	2017年3月 (百万円)	2016年3月 (百万円)	前年同期比 (%)
売上高	21,897	21,381	102.4%
営業利益	1,095	979	111.8%
経常利益	1,192	1,011	117.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	845	648	130.3%

●2017年3月期連結決算実績 (対予想比)

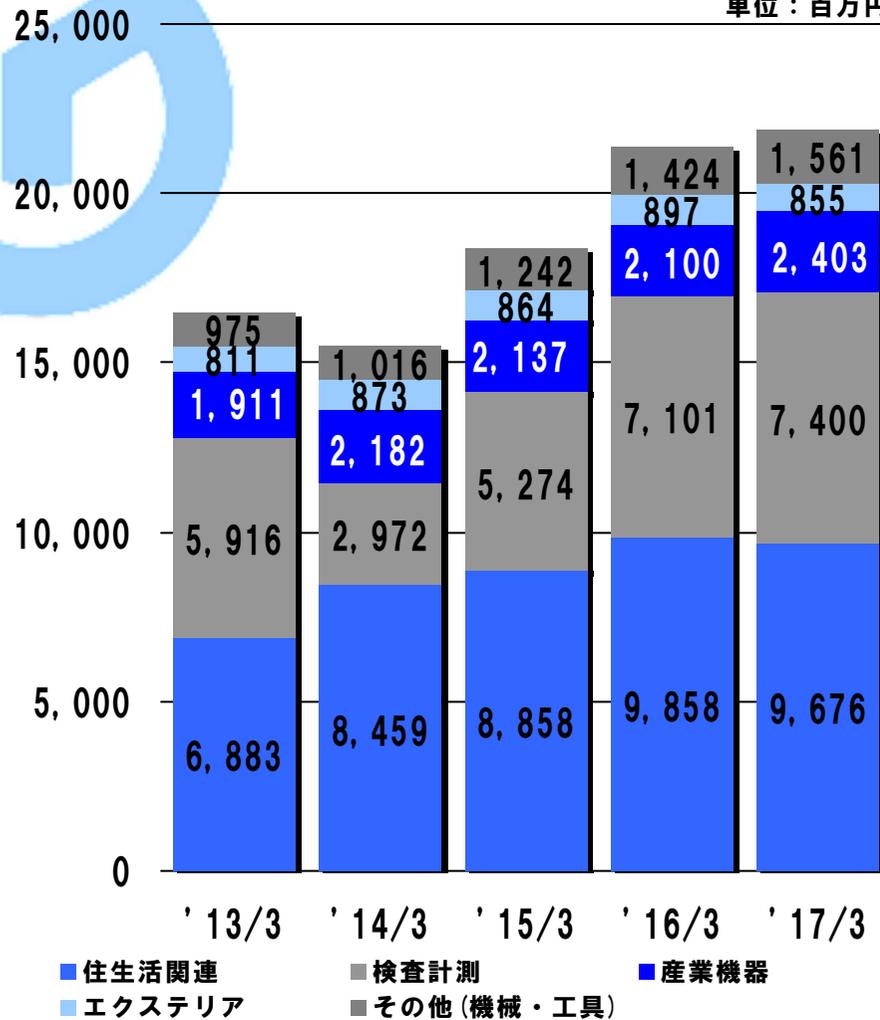
	2017年3月実績 (百万円)	2017年3月予想 (百万円)	予想比 (%)
売上高	21,897	22,400	97.8%
営業利益	1,095	1,100	99.6%
経常利益	1,192	1,220	97.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	845	810	104.4%

※予想値は、平成28年5月9日に開示しました業績予想値を採用しております。

●セグメント別売上高の推移

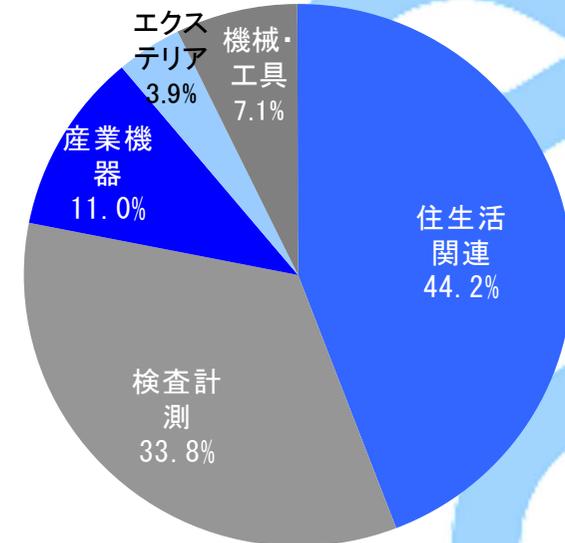
セグメント別売上高の推移

単位：百万円



	2017/3 (百万円)	2016/3 (百万円)	前年 同期比
住生活関連	9,676	9,858	98.2%
検査計測	7,400	7,101	104.2%
産業機器	2,403	2,100	114.4%
エクステリア	855	897	95.3%
その他(機械・工具)	1,561	1,424	109.6%
合計	21,897	21,381	102.4%

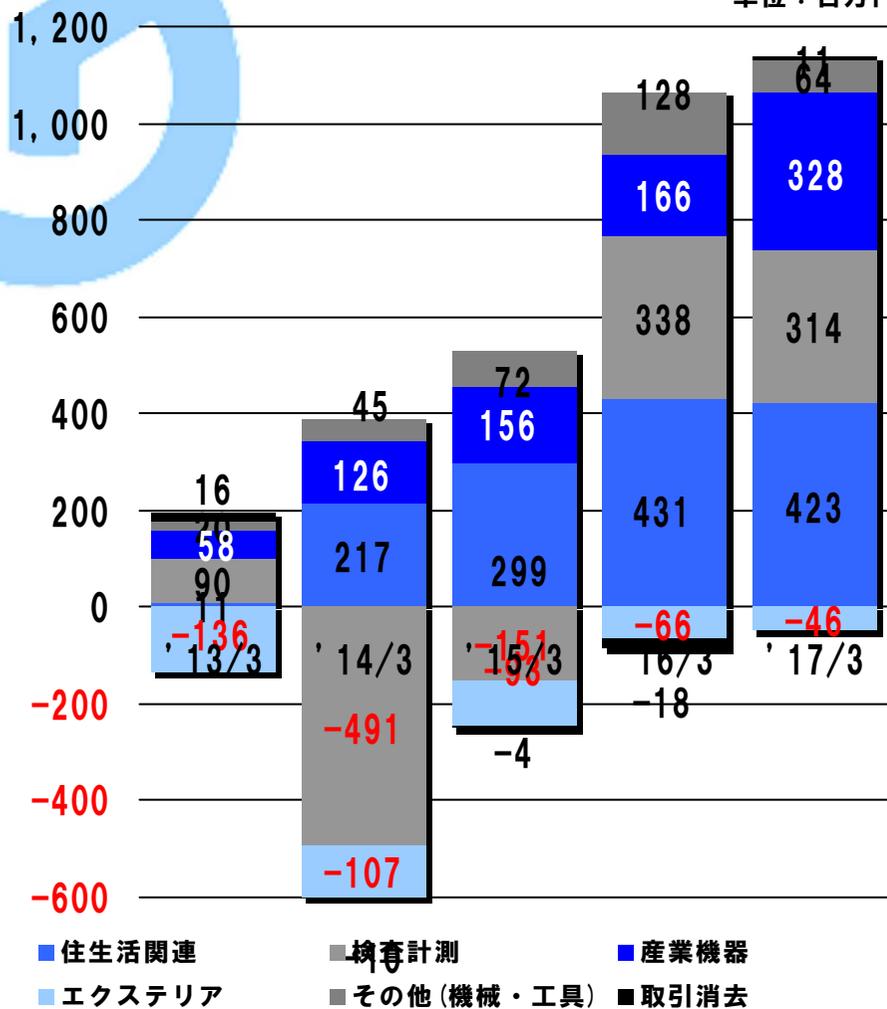
2017/3連結売上高構成比



●セグメント利益の推移

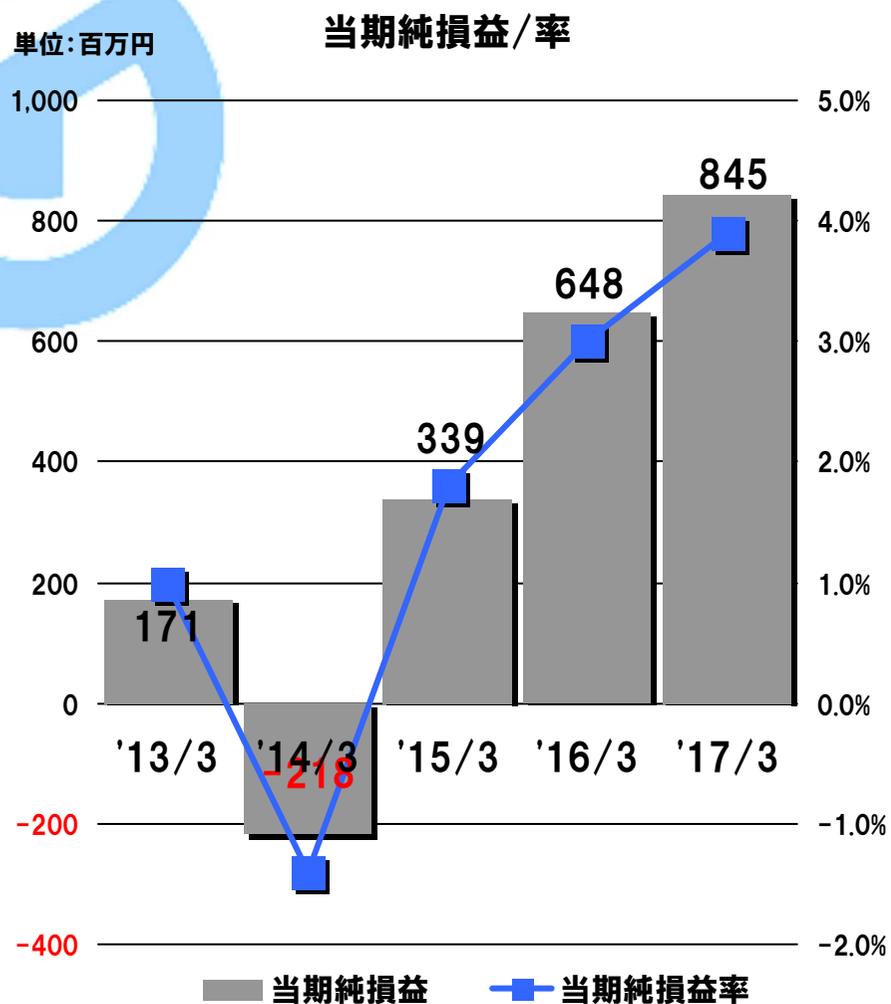
セグメント利益の推移

単位：百万円



	2017/3 (百万円)	2016/3 (百万円)	前年 同期比
住生活関連	423	431	98.3%
検査計測	314	338	92.8%
産業機器	328	166	197.1%
エクステリア	△46	△66	—%
その他(機械・工具)	64	128	50.0%
取引消去	11	△18	—%
合計	1,095	979	111.8%

● 当期純損益の推移 (連結)



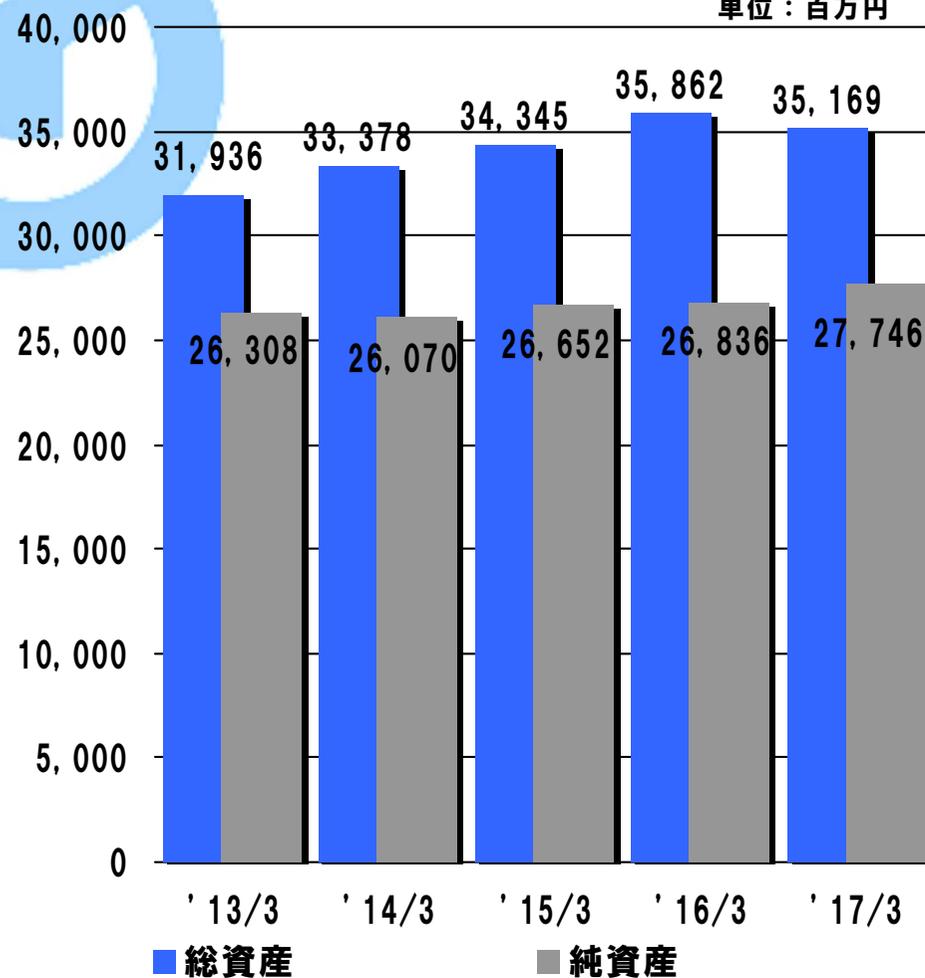
○ 2017年3月期の1株当たり純利益
55円63銭

※会計基準の変更により、2016年3月期より、当期純損益の表示が「親会社株主に帰属する当期純損益」となっておりますが、便宜上2016年3月期は従前どおりの科目表示としております。

●総資産・純資産の推移(連結)

総資産/純資産

単位：百万円



○2017年3月期の自己資本比率 78.9%

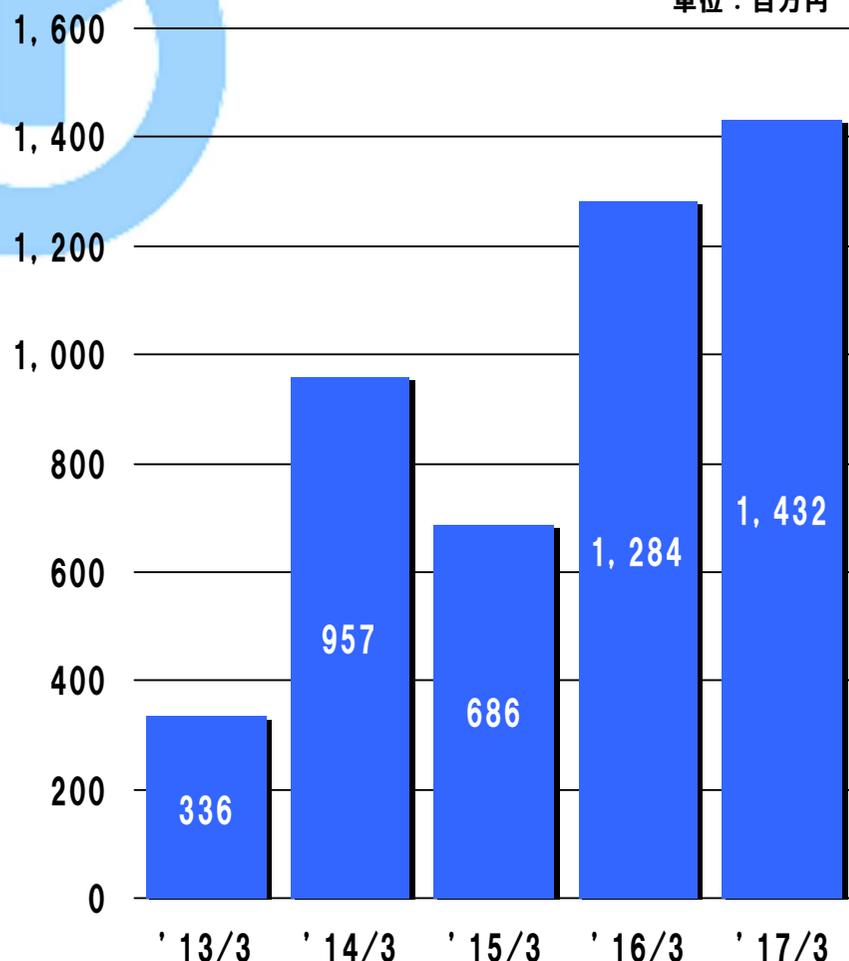
○2017年3月期の自己資本利益率 3.1%

○2017年3月期末の1株当たり純資産
1,825円91銭

● 主な設備投資内容・設備投資額推移

設備投資額推移

単位：百万円



※設備投資額は有形+無形固定資産の設備投資に係るものであります。

	2017/3 (百万円)	2016/3 (百万円)	前年 同期比
住生活関連	715	909	78.7%
検査計測	144	201	71.8%
産業機器	189	110	171.4%
エクステリア	32	20	160.8%
その他(機械・工具)	364	62	—%
調整額	△15	△20	—%
合計	1,432	1,284	111.5%

● 当期の主な設備投資の内容

■ 住生活関連機器

- ・ 横浜営業所倉庫建設工事
- ・ オフィス椅子工場ライン合理化投資
- ・ オフィス椅子製造装置
(新ベンダー・ロボット組立システム等)
- ・ 3Dプリンタ導入

■ 産業機器

- ・ 合理化ライン投資

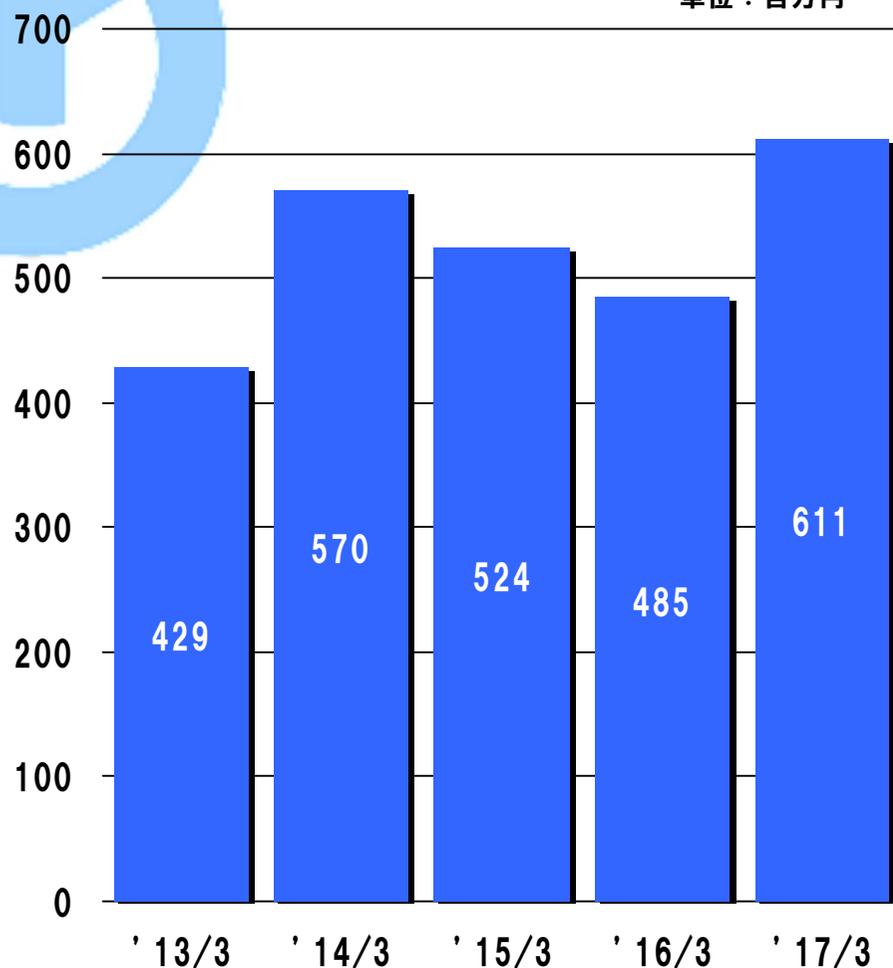
■ その他

- ・ (株)ニッコー新本社建設工事

● 主な研究開発内容・研究開発費推移

研究開発費推移

単位：百万円



	2017/3 (百万円)	2016/3 (百万円)	前年 同期比
住生活関連	74	72	103.1%
検査計測	394	276	142.6%
産業機器	52	51	100.2%
エクステリア	0	0	—%
基礎研究(区分不能)	89	83	106.5%
合計	611	485	126.0%

● 当期の主な研究開発の内容

■ 住生活関連機器

- ・ 新素材研究等

■ 検査計測機器

- ・ 高速・高分解能新型カメラおよび画像処理装置開発他

■ 新事業開発関係（基礎研究）

- ・ 体外診断用医薬品および診断装置開発
- ・ 医療関連機器開発

●2017年3月期連結キャッシュフロー計算書

	2017年3月 (百万円)	2016年3月 (百万円)	前年比増減 (百万円)	備考
営業活動によるCF	2,947	△1,248	4,196	
投資活動によるCF	309	80	228	
財務活動によるCF	△179	△285	105	
現金等換算差額	△24	△57	32	
現金等の増減額	3,052	△1,510	4,562	
現金等期首残高	7,957	9,468	△1,510	
現金等期末残高	11,009	7,957	3,052	

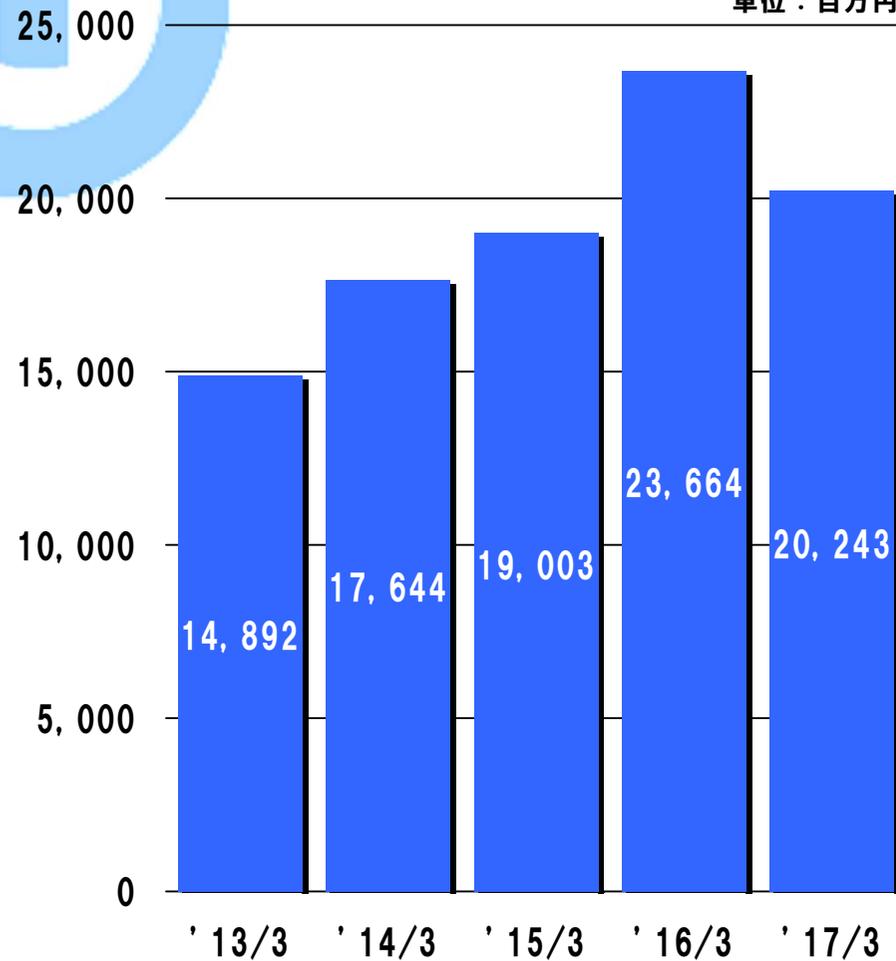
●受注高・受注残高の状況

■検査計測機器事業の受注残高

2017年3月末 5,629百万円(前期末比23.2%減)

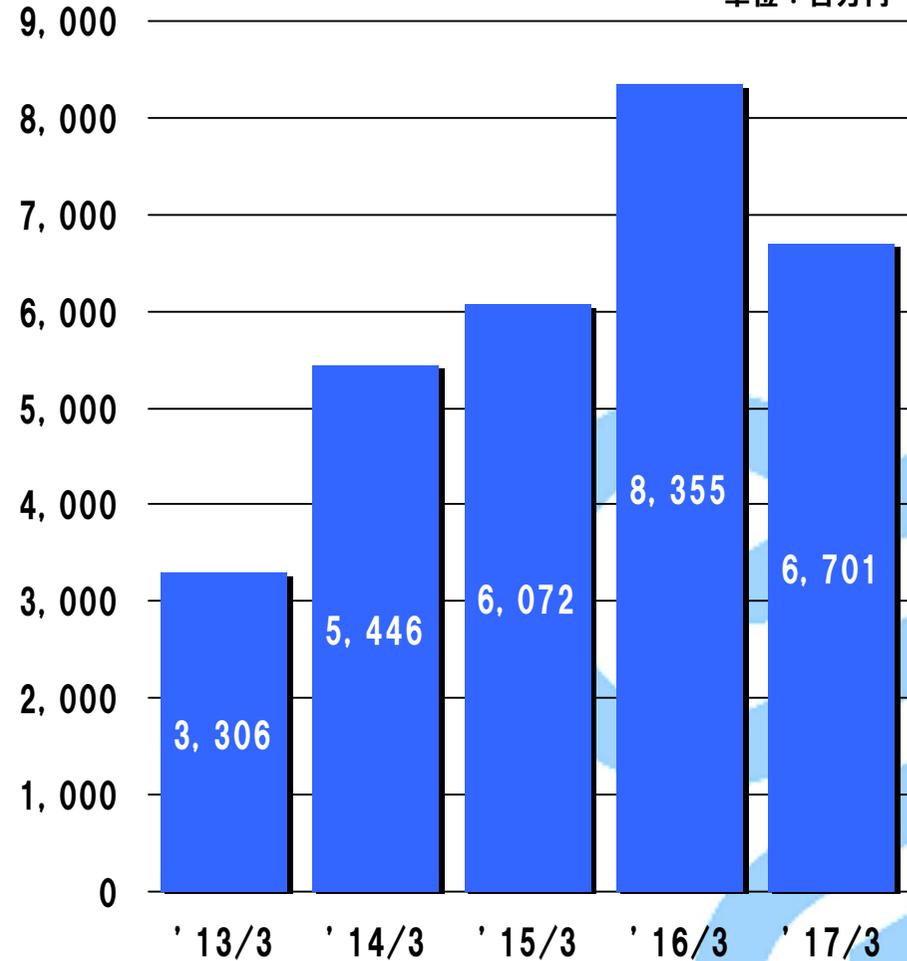
受注高の推移

単位：百万円



期末受注残高推移

単位：百万円



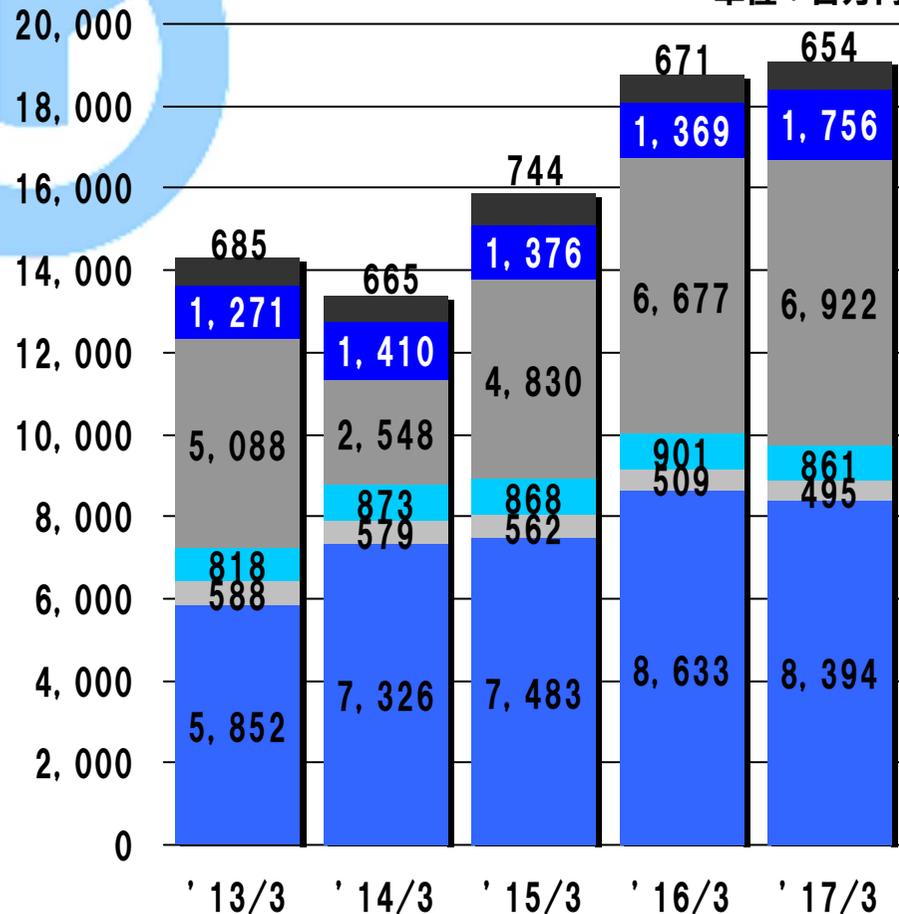
**2017年3月期決算（単独）
部門別売上高実績の内容について**

代表取締役社長 鷹野 準

●部門別売上高(単独)の推移

部門別売上高推移

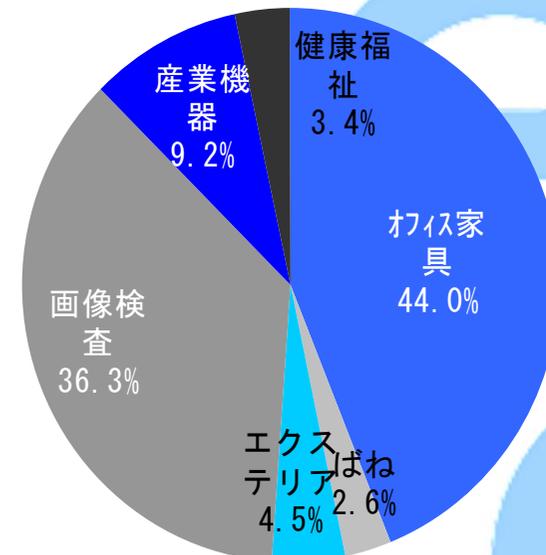
単位：百万円



■ オフィス家具 ■ ばね ■ エクステリア
■ 画像検査 ■ 産業機器 ■ 健康福祉

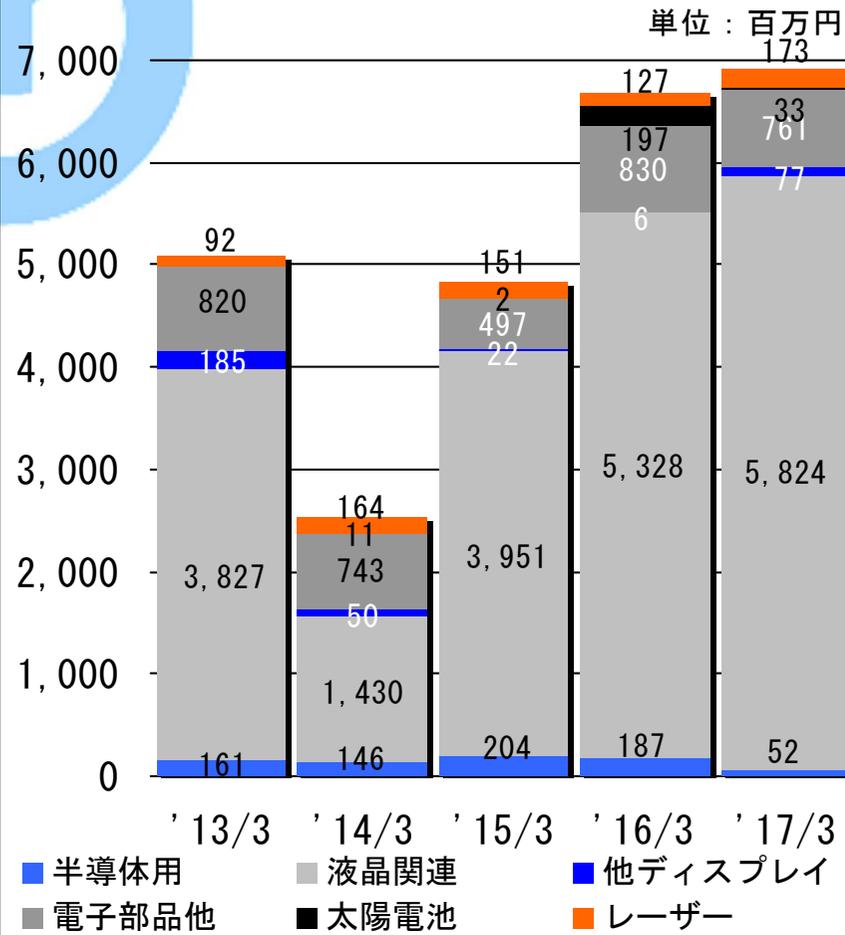
	2017/3 (百万円)	2016/3 (百万円)	前年 同期比
オフィス家具	8,394	8,633	97.2%
ばね	495	509	97.2%
エクステリア	861	901	95.6%
画像検査	6,922	6,677	103.7%
産業機器	1,756	1,369	128.3%
健康福祉	654	671	97.5%

2017/3売上構成比

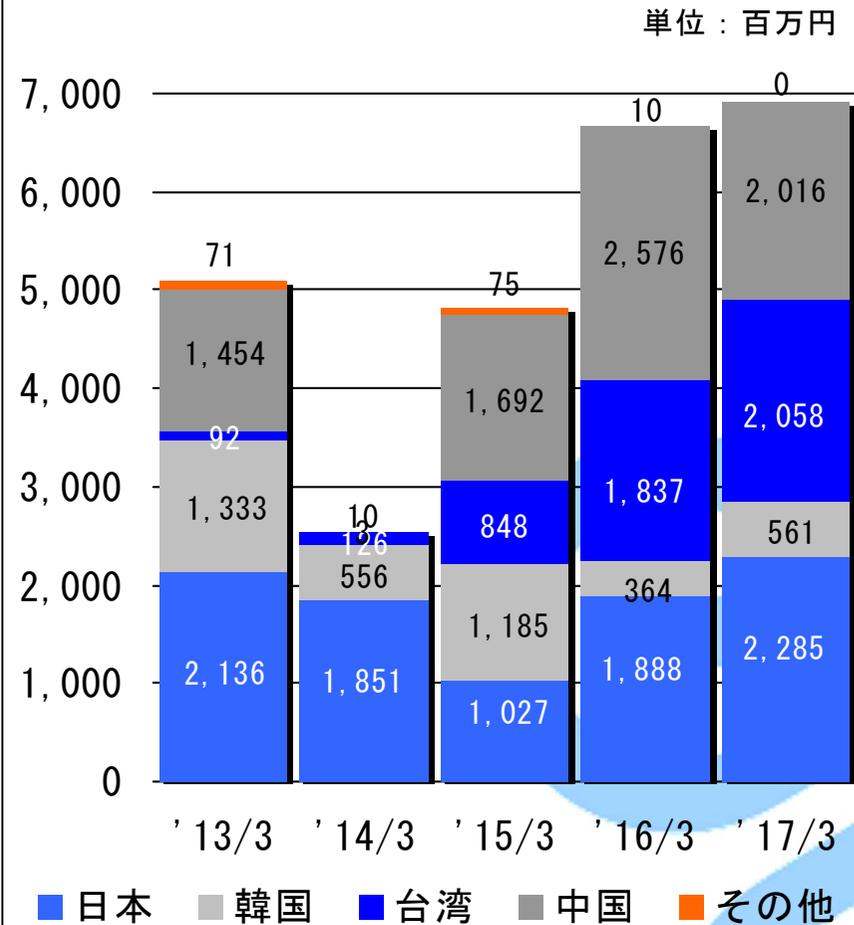


●検査計測装置売上高の推移

検査計測装置品目別売上高推移



検査計測装置地域別売上高推移



2018年3月期決算（連結）の見通しについて

代表取締役社長 鷹野 準

●2018年3月期決算（連結）見通し

	2018年3月予想 (百万円)	前年同期比 (%)	2017年3月実績 (百万円)
売上高	22,400	102.3	21,897
営業利益	1,400	127.8	1,095
経常利益	1,500	125.7	1,192
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,050	124.2	845

中期経営計画の進捗状況 実施施策等について

代表取締役社長 鷹野 準

■中期経営計画（Innovation 68）の基本方針

スローガン：「Innovation 68」
～新しい価値を創造する～

基本方針：「構造改革とプロセス改革を進め、
稼ぐ力を取り戻し、次の成長路線
を構築する。」

キーワード： Change
Chance + Speed (Quick Response)
Challenge

■中期経営目標について

連結業績等	平成29年3月期 実績		平成33年3月期 目標
売上高	21,897百万円		30,000百万円
営業利益	1,095百万円		3,000百万円
(営業利益率)	5.0%		10.0%
経常利益	1,192百万円		3,100百万円
(経常利益率)	5.4%		10.3%

■中期経営計画 全社的課題に対する施策概要

- (1) 連結経営体制の強化を図る。
- (2) 新分野・成長分野開拓の道筋をつける。
- (3) 全体効率の視点で生産効率向上策と原価低減を徹底的に進め、競争力を高める。(毎年10%以上の生産性向上)
- (4) グローバル化の推進を行う。(グローバルの視点で考え、行動する。)
- (5) M&A・事業提携等を通じた成長の実現を図る。
- (6) 不採算分野の方向付けと事業構造を変革させる。
- (7) 強固な財務基盤の維持と新規・成長分野への積極投資の両立。
- (8) CSRの推進に向けて、人材・環境分野で重点的な活動を進める。
- (9) コーポレート・ガバナンスの強化。

■中期経営計画 全社的施策に関する施策実施状況等

施策内容	実施施策概要
連結経営体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・子会社管理体制(業績管理等)の刷新 ・海外子会社機能の見直し(事業部門をまたぐ機能の拡充検討)
新分野・成長分野開拓の道筋	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機器関連分野の事業化(体外診断用機器・手術室まわり製品の事業開発) ・半導体関連電子デバイス検査事業拡大に向けた新製品開発 ・AI(ディープ・ラーニング等)を活用した検査装置の高度化(欠陥分類機能等)
生産効率向上策と原価低減	<ul style="list-style-type: none"> ・全社的にJIT思想に基づく合理化・効率化活動の推進 ・ロボットの導入等による無人化工程・無人化ラインへの挑戦 ・IoTの活用による製造現場の見える化の推進と生産性向上 ・3Dプリンタの追加導入、シミュレーション技術の高度化等による開発リードタイムの大幅短縮への挑戦
グローバル化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・産業機器分野(電磁アクチュエータ)の北米営業展開実施(専任チームの編成と重点的なマーケティングの実施) ・北米事業拠点の設置検討[継続検討中] ・海外子会社を通じたグローバル調達への推進
M&A・事業提携等	<ul style="list-style-type: none"> ・医療関係分野、検査計測センサー関係分野等での継続検討

■中期経営計画 全社的施策に関する施策実施状況等

施策内容	実施施策概要
不採算分野の方向付けと事業構造変革	<ul style="list-style-type: none"> ・住生活関連事業ヘルスケア分野における営業体制の強化(医療機器関係のマーケティング実施体制の拡充・ヘルスケア(医療)関連を一つの柱へ育成) ・ヘルスケア部門を独立、専任役員体制整備(予定) ・エクステリア事業における営業体制の強化と新製品開発の活発化
財務基盤の維持と新規・成長分野への積極投資	<ul style="list-style-type: none"> ・攻めにかかる新規設備投資を増額 ・M&A・事業提携等への投資継続検討 ・新分野・成長分野事業化開発の体制強化
人材・環境分野で重点的な活動推進	<ul style="list-style-type: none"> ・減電プロジェクトによる使用エネルギーの大幅低減活動実施 (3か年の削減目標 原単位比で30%の削減)
コーポレート・ガバナンスの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・監査等委員会設置会社への移行[H28/6] ・取締役会の評価・分析を含めた、取締役会のあり方の見直し[継続検討]

※この資料に記載されている業績予想等の将来に関する予測は、当社経営陣が現時点で入手可能な情報に基づき、判断したものであります。将来に関する予想には様々な潜在的リスクや不確定要素が内在されており、実際の業績は種々の要素によりこれらの将来予想とは異なる場合があります。従いまして、この資料にある将来に関する予想に全面的に依存して投資等の判断を行うことはお差し控えてください。

